

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23084
事業名	発寒破碎工場運営管理費					
評価担当課	所属名	環)環境事業部 発寒清掃工場				
	課長名	駒野	担当者名	山下	電話番号	011-667-5311
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	プラント設備及び同付帯設備の運転及び機器の維持管理・保守・点検・修繕を行う。			
		長期	市域内から発生する一般廃棄物(粗大ごみ・大型ごみ)及び破碎が必要な可燃性事業系一般廃棄物を焼却に適するよう前処理を行う。			
	取組内容	当該施設は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき、市が収集した一般廃棄物(大型ごみ・分別ごみ)及び市が許可した可燃性産業廃棄物を破碎処理する施設である。 処理能力:高速回転破碎機 100t/5h・剪断式破碎機 50t/5h 敷地面積:12,214㎡ 【運転維持管理業務】①破碎機設備及び同付帯設備の運転、保守点検、修繕 ②外構、建築物及び同設備の保守点検、修繕 ③破碎処理物の運搬				
実施結果	大型ごみ等を滞りなく、適正に破碎処理することができた。					
事業実施における工夫点	施設の老朽化が進む中で、工場設備の処理能力を維持しつつ、ごみの適正処理を行っていくためには、適切な整備・保守を行っていく必要があるが、実施内容を精査し、経費の圧縮に努めた。					
対象者	市民	開始	令和3年度	終了	令和3年度	
関連法令・条例・要綱等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、及び、同法施行規則					
他都市の状況	他都市の同種施設においても、各設備の維持管理に務め、施設全体の定格能力の確保を図るため、日常的な点検・整備と老朽化した設備の更新が逐次実施されている。					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	303,545	265,404	292,974	268,765	
うち特定財源	303,545	265,402	292,974	268,765	
人工	1.0	1.0	1.0	1.0	
人件費	7,200	7,200	7,200	7,200	
計(事業費+人件費)	310,745	272,604	300,174	275,965	
事業費の内訳	令和3年度決算	運転管理・定期整備等委託料:216,335千円 光熱水費:48,826千円 その他:27,813千円			
	令和4年度予算	運転管理・定期整備等委託料:197,723千円 光熱水費:54,010千円 その他:17,032千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	破砕量(t)(破砕工場総計)				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
	47,679	45,482				
活動指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定		
成果指標1	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
成果指標2	指標名					
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標		
項目	判定	理由				
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	大型ごみ等を滞りなく適正に破砕処理することができた。また、破砕したごみの中から金属を回収し、資源化を行った。				
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	破砕工場に求められる破砕量(指標)は、計画に対し、十分な実績をあげており、適正な事業水準である。				
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	ごみの破砕処理は廃棄物を衛生処理及びリサイクル化する一つの手法であり、循環型社会構築の基本を担うために欠かせない適切な処理方法である。				
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	市民が快適に生活できるように、関係法令を遵守し適正に運営管理している。				
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映		
今後の改善点	設備の老朽化が進む状況のなか、処理機能を維持するため、適切な整備と保守を十分に行う必要がある。					
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
今年度取り組んだ見直し内容	施設の老朽化が進む中で設備の処理能力を維持し、ごみの適正処理を行うために適切な整備、保守を継続的に行う必要があるが、実施内容を精査し経費の圧縮に努めた。			見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし					
評価の理由	大型ごみ等の適正かつ安定的な処理体制を維持しながら、より計画的な整備や効率的な運転業務の検討・見直しを進めていく。					
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善 ○ 現状維持 ○ 休止・廃止 施設の老朽化による故障対応などに経費の増加が考えられるが、計画的な整備、効率的な運転を実施することにより、適正な施設維持管理に努める。				
	予算	● 拡充 ○ 現状維持 ○ 縮小 ○ その他 工場の安定運転を確保するため、主要機器の更新及び定期的な部品交換が必要となるため、事業費の増加が見込まれる。			見直し効果額	0